

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【公開番号】特開2003-199714(P2003-199714A)

【公開日】平成15年7月15日(2003.7.15)

【出願番号】特願2002-937(P2002-937)

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 3/16

【F I】

A 6 1 B 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成16年10月4日(2004.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

なお、眼圧値PE1は光量信号Qsのピークが得られたときの圧力信号Psから直接求めても良い。また、圧縮空気の吹き付け開始から光量信号Qsのピークが得られるまでの時間によって求めるることもできる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

また、圧縮空気の噴射の途中で睫毛が掛かると、圧平状態での光量信号Qsのピークが検出されずに、眼圧値PE1が得られないことがある。この場合でも、角膜変形開始の段階を検出できれば測定値PE2が得られるので、測定エラーを少なくすることができる。したがって、測定の確実性を増すことができる。